

## 平成31年度 上川南部森林室立木販売重点目標

上川南部 森林室

### 1 地域材を活用した地域の取組みの促進 (①)

- 上川地域では、平成21年度に地域材であるトドマツ材の利用拡大に向けて、造材、製材、加工、住宅建築、家具製造等の木材関連企業で構成された上川地域水平連携協議会が設立され、構造材や内装材、家具等の製作や商品開発等に取り組む活動が行われている。  
このため、平成29, 30年度に地域の事業者と協定を締結した「長期安定供給販売」を通じて、地域材の供給を行う。
- 上川管内は、古くから家具等の製造が盛んな地域であり、また現在も広葉樹の集積地で全道の生産量の7割を占めており、広葉樹の安定的な供給が求められている。  
このことから、平成30年度に協定を締結した「協定販売」により天然広葉樹を供給するとともに、地域の取組と連携して道有林材のブランド化を図る。

### 2 木質バイオマス燃料材の安定供給②

- 上川管内では、複数の市町村において木質バイオマスを燃料として利用する取組が進められており、地域のニーズを踏まえ、次の取組を行う。
  - ① 平成30年度に協定を締結した「協定販売」による木質バイオマス燃料材の販売
  - ② 林道や施業道沿いのかぶり木等を事業者の提案に応じて販売
  - ③ 保育伐等の実施により切り捨てられた未利用材の販売

### 3 販売目標量

- (1) 総販売量  
51,000 m<sup>3</sup>
- (2) 協定販売  
3,200 m<sup>3</sup>

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2,500m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>

- (3) 長期安定供給販売  
12,700 m<sup>3</sup>
- (4) オープンカウンター販売  
1 件